

Tokyo Tokyo FESTIVAL の展開及びプロモーションについて

TTFの多彩なプログラム

TTFを象徴するプロジェクト

スペシャル13



都立文化施設での展覧会・演劇・コンサート等



民間への助成事業



伝統文化の発信



庁内各局・都内区市町村との連携事業



©2019 TIFF

多彩なプログラムの魅力を発信し「文化の祭典」に相応しい盛り上がりを創出

T T Fを象徴するプロジェクト

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13①

DANCE TRUCK TOKYO



Photo by bozzo

2019年9月5日
～
2020年8月

東京都区部・
多摩地域・
島しょ

隅田川怒涛

春：4月13日～19日 夏：8月17日～23日



世界無形文化遺産フェスティバル2020



4月18日、19日

日比谷公園
大音楽堂・小音
楽堂

TOKYO REAL UNDERGROUND



4月～6月頃

都内

TTFを象徴するプロジェクト

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13②

TOKYO SENTO Festival 2020



5月26日～
9月6日

都内銭湯約
550か所

光の速さ -The Speed of Light-

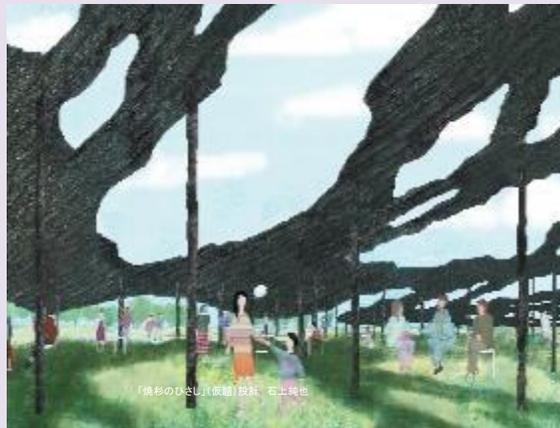


5月～6月頃

都内

Photo: Juan Ignacio Fernández and Ignacio Ragone

パビリオン・トウキョウ2020



6月6日～9月13日

新国立競技場を
中心とする
半径3kmの範囲

「鉄杉のひさし」(仮題)設計: 石上純也

放課後ダイバーシティ・ダンス



2019年9月～
2020年8月

港区、国立市、
日の出町ほか

撮影©植田 洋一

T T Fを象徴するプロジェクト

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13③

まさゆめ



2020年夏
都内

The Constant Gardeners



2020年夏
上野恩賜公園

漫画「もしも東京」展



2020年夏

東京都現代
美術館

シークレット企画：後日発表予定

Light and Sound Installation “Coded Field”

※2019年11月16日
終了



写真提供：ライゾマティクス

TTFを象徴するプロジェクト

TURN

8月15日、16日、18日、19日 東京都美術館
(TURNフェス)



東京キャラバン

5月23日、24日 代々木公園



T T F を象徴するプロジェクト

オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇔Tokyo⇔World

オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇔Tokyo⇔World 『ニュルンベルクのマイスタージンガー』
6月14、17日 東京文化会館 大ホール



※写真はザルツブルク・イースター音楽祭公演（2019年4月）の様子

TTFを象徴するプロジェクト

サラダ音楽祭

5月3日 日比谷野外音楽堂、 9月3-6日 東京芸術劇場

OK!オーケストラ



メインコンサート



ベイビーオペラ『ムルメリ』



ポップスコンサートin野音



都立文化施設での展覧会・演劇・コンサート等

東京都美術館
ボストン美術館展
芸術×力
2020年4月16日～7月5日



チカラは、美を求めた

芸術×力
ボストン美術館展

2020.4.16(土)～7.5(日)

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
東京・上野公園 TOKYO UENO PARK 〒100-8701

Art & Power: From Plato to Gainsborough. Masterworks from the Museum of Fine Arts, Boston
TEL: 03-5777-8600 #hashtag: https://www.tmv.co.jp/boston2020/ @tomboston_2020



東京都現代美術館
石岡瑛子展
2020年7月11日～10月18日



民間への助成事業

浜離宮大江戸文化芸術祭2019



ポリティカル・マザー
ザ・コレオグラファーズ・カット



撮影: 高木由利子

マニアフェスタ Vol.3



落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団
プロジェクトVOL.3



撮影: 平館平

庁内各局・都内区市町村との連携事業

庁内連携事業



東京国際映画祭

©2019 TIFF

J-CULTURE FEST



区市町村連携事業

新宿フィールドミュージアム2019
-shin-音祭



立川よいと祭り



伝統文化の発信



茶道・華道などの伝統文化の体験
(選手の集まる施設・メディアセンター等)



木遣り等の伝統芸能公演
(都立文化施設等)



風呂敷の体験講座
(メディアセンター・ライブサイト会場等都内各地)



演芸などのパフォーマンス公演
(ライブサイト会場等)

Tokyo Tokyo FESTIVAL今後のプロモーション展開について

- T T F 全体の P R に加え、「スペシャル 1 3 」やその他の各プログラムを紹介
- 特に、象徴的なプログラムである「スペシャル 1 3 」については、フックとして重点的に取り上げることで、T T F 全体の周知に繋げる
- P R 展開自体に話題性を持たせ、幅広い層に T T F の「楽しさ」をアピール
- 訪日外国人向けには、海外メディアや海外都市での P R を活用し、これまで以上に発信

文化でつながる。未来とつながる。
THE FUTURE IS ART

TokyoTokyo
FESTIVAL

PR展開における考え方

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
オリパラ関係	オリ100日前	パラ100日前			オリ大会	パラ大会
主なTTFコンテンツ		サラダ音楽祭 ポップスコンサート 東京キャラバン 六本木アートナイト 神楽坂まち舞台 伝承のたまてばこ 東京芸術祭特別企画	オペラ夏の祭典	大江戸の華 石岡瑛子展	TURNフェス アンサンブルス 東京 メディアセンター ライブサイト	サラダ音楽祭
スペシャル13	DANCE TRUCK TOKYO TOKYO REAL UNDERGROUND 世界無形文化遺産 フェスティバル2020 隅田川怒涛	光の速さ -The Speed of Light- Tokyo SENTO Festival 2020	パビリオン・ トウキョウ2020	まさゆめ The Constant Gardeners シークレット企画	放課後ダイバー シティ・ダンス 隅田川怒涛 漫画「もしも東京」展	

○スペシャル13のプログラム開催が重なる時期
○多くのTTFのプログラムが集中する時期
⇒TTFへの理解を深める
(例) 積極的なメディアプロモート

○大会に向けた期待感が高まる時期
○スペシャル13や大会期間の各種事業直前期
⇒TTFの盛り上げをピークへ
(例) サイネージジャック

PRに向けた主な取組例

積極的なメディアプロモート



サインージャック



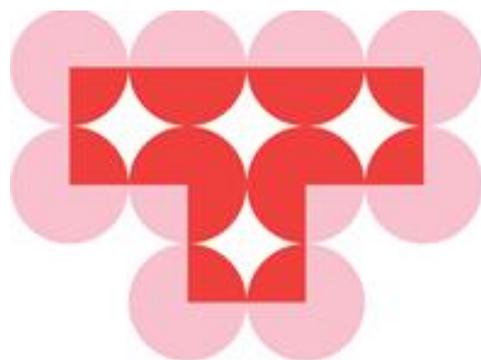
花火大会の機会の活用



参加型企画による情報拡散



東京都メディアセンターでのPR



tokyo media center

その他

- 「プログラム冊子」の制作・配布
- TVCMの放映
- 訪日外国人が多用するサイトの活用
- 自治体国際化協会を通じたPR
(ロンドン、パリ、シドニー等7都市)
- ラジオ番組での情報提供

などの展開を予定

「未来の東京」戦略ビジョンについて

- 2040年代の東京の姿「ビジョン」を目指し、2030年に向けた「戦略」と「推進プロジェクト」の実行を通じて「3つのシティ」が進化し、「成長」と「成熟」が両立した未来の東京を実現していく。

セーフ シティ

ダイバーシティ

スマート シティ

実現

2030年に向けた「戦略」

「ビジョン」の実現に向け、2030年に向けて取り組むべき20の戦略と政策目標を提示

戦略実行のための「推進プロジェクト」

戦略実行のために、約120の「推進プロジェクト」を組成

目指す2040年代の東京の姿「ビジョン」

おおむね四半世紀先である2040年代を念頭に、我々が目指す「未来の東京」の姿として20のビジョンを提示

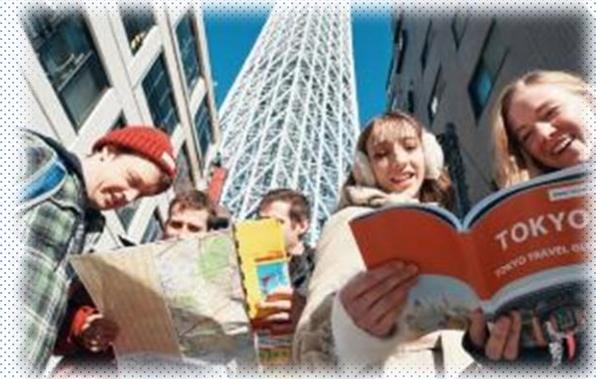
楽しい東京

ビジョン18 文化・エンターテインメント

文化やエンターテインメントで世界を惹きつける東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ 洗練された伝統文化や芸術、ファッション、ポップカルチャーなど様々なコンテンツがつながっている東京は、**世界で最も歩くのが楽しい憧れの的**となり、世界中の**アーティストの卵が修行**に訪れる登竜門に
- ✓ 都内各地域のお祭りやイベントなどで、**地域の個性を活かした文化の催し**が行われ、東京を訪れる外国人を魅了
- ✓ 和食や、世界の食を最もおいしく楽しめる、**多様で洗練された「世界の台所」**となっている
- ✓ AIやICTなどの**最先端技術と、人によるおもてなしが融合**した受入環境が整い、**世界一安心・快適な観光都市**に
- ✓ **東京が日本各地と世界の結節点の役割**を果たすことで、多くの外国人旅行者が全国各地を訪れ、**日本中で経済や文化交流の好循環が実現**



戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略



文化やエンターテインメントで
 世界を惹きつける東京

世界から多くの観光客が訪れる東京2020大会を跳躍台とし、**芸術文化やエンターテインメントなど都が持つ魅力的な資源を磨き上げる**とともに、**誰もがストレスなく楽しめる環境を整備し、東京と全国各地が広域的かつ有機的に連携する**ことで、何度でも訪れたい都市へと進化させる。

芸術文化やエンターテインメントを存分に楽しめるまちをつくる

- ・都立文化施設をコアに国や民間とのネットワークを強化し、東京の芸術文化やエンターテインメントなど、多様な魅力の集積を世界に発信するとともに、新たな賑わいをつくっていく。
- ・芸術文化の力を活用し、文化の領域を超えて、高齢化や共生社会などの社会課題の解決に貢献する。

旅行者が楽しめる、魅力的なコンテンツを磨き上げる

- ・AI、ICTなどの最先端技術を活用し、東京を訪れる誰もがストレスなく楽しめる環境整備を徹底するとともに、東京が持つ様々な魅力的な資源を更に磨き上げ、東京ならではの「特別な体験」等を提供することで、世界中に東京のファンを増やしていく。

世界を視野に、オールジャパンでプロモーションを展開する

- ・東京と全国の各地域が広域的かつ有機的に連携し、旅行者の行動特性などを緻密に分析した観光ルートの開発や、共同プロモーション等を通じて、東京と全国各地が相乗効果で魅力を高める観光振興を戦略的に展開する。

推進プロジェクト

アートショーケースTOKYOプロジェクト

魅力ある観光コンテンツ創出プロジェクト

体験・まち歩き スマート観光プロジェクト

オールジャパンでの戦略的な観光振興プロジェクト

都の文化政策の今後の方向性について

今後 強化していく視点

都市力の強化

ネットワークの
強化

参加・体験機会
の拡充

テクノロジーの
活用

社会課題の解決
への貢献

あらゆる主体との
連携

東京に文化芸術の賑わいをもたらすと同時に、福祉や観光、まちづくり、教育など、文化の領域を超え、都市の成長・発展にも寄与する文化政策の構築が必要

1 都市力の強化

方向性

- 才能あるアーティストを発掘・育成、国内外での活躍を支援し、東京発のアーティストと作品の国際的評価を高めていく
- 新たな文化の創造発信とエンターテインメント性の向上により、都市の魅力を高め東京の成長に寄与していく

今後の取組例

【体系的なアーティスト育成】

【新たな文化の創造発信】

発掘

育成

国内外で活躍

美術

Tokyo Arts and Space

Tokyo Contemporary Art Award
⇒海外活動の支援、現美での個展

音楽

東京音楽コンクール

⇒充実を検討

演劇

東京芸術祭

芸術劇場での上演

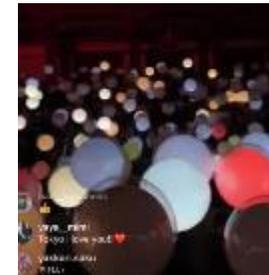
映画

タレントキー
(若手の映画監督・プロデューサーの育成事業)

助成金による若手支援



【トゥーランドット】
・新国立との共同制作
・地方に巡回



【coded field】
・メディアテクノロジーと通信技術を組み合わせた実験的プロジェクト

2 ネットワークの強化

方向性

- 国や民間文化資源を巻き込み、多様な魅力の集積として発信し、世界中から人が集まる環境をつくっていく

今後の取組例

カルチャーパスの発行

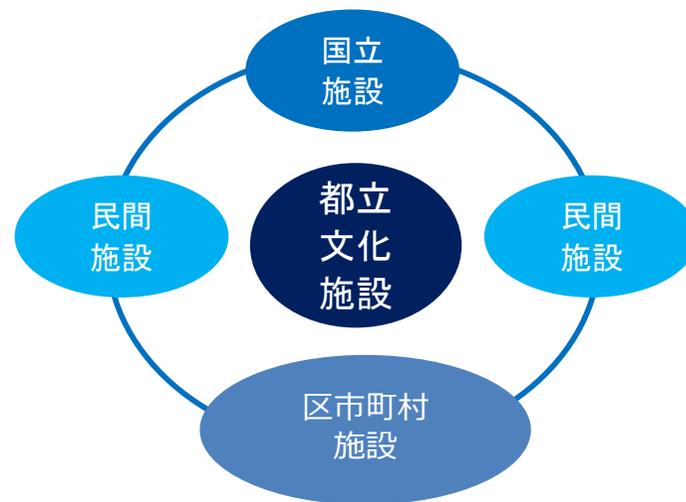
- ・ 都立文化施設がコアとなり、国・民間施設の参加を得て外国人向けのキャッシュレスパスを発行

新たな賑わいを作るフェスティバル

- ・ 2020以降の新たな賑わいとして、数年に一度、国や民間、イベントと連携したフェスティバルを開催

ナイトミュージアムの連携強化

- ・ 夏の夜間開館を様々なミュージアムでも開催



3 参加・体験機会の拡充

方向性

- 美術館や劇場を訪れて鑑賞するだけでなく、子供や高齢者、障害者など、どのような層の人も主体的に参加・体験したり、創造・発信する機会が溢れている
- 文化プログラムやアート体験がエンターテインメントとしても人々を惹きつけ、文化を楽しむきっかけとなっている

今後の取組例

「アート・カルチャー体験100」

- 都立施設の参加・体験型プログラムを集約
- 国・民間施設や庭園イベント等も取込み、プッシュ型のアート体験プラットフォームを形成

「Welcome Youth（ウェルカムユース） -2020春- 」

- 若い世代が気軽に文化に親しめる機会を創出するため、春休みの時期に合わせ、18歳以下を対象に、期間中に開催しているすべての展覧会を無料開放
- 期間中は、美術館・博物館にて、特別イベントやサービスを実施

4 テクノロジーの活用

方向性

- 民間からテクノロジー活用の提案を募集するなど、都立施設をテクノロジーの実験場とし、サービス拡大や新たな鑑賞体験の提供を行っていく

今後の取組例

どのような環境にある人もアートに触れる

■ 院内学級の子供たちの鑑賞環境



遠隔操作ロボットで
作品鑑賞

■ 聴覚障害者へのサポート



振動や光によって
音を伝えるデバイスの
活用

テクノロジーで驚きと感動を届ける

■ VIRTUALの都響を指揮



■ プラネタリウム花火



5 社会課題の解決への貢献

方向性

- アートの力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など、文化の領域を超えた東京の社会課題の解決に取り組み、日本のリーディングケースとしていく

今後の取組例①

【社会インフラとしての クリエイティブ・ウェルネス構想】

クリエイティブ・ウェルネスセンター（仮称）

東京都美術館



アートコミュニケーション

東京文化会館



音楽ワークショップ
(高齢者)

写真美術館



視覚障害者

現代美術館
例) 院内学級

芸術劇場
例) 聴覚障害者

江戸東京博物館
例) 認知症

渋谷公園通りギャラリー
アール・ブリュット

アートプロジェクト
「TURN」

* 大会のリーディング
プロジェクト・芸大協力

専門機関
(福祉施設等)

アートNPO等

民間企業

プロボノ
ワーカー

5 社会課題解決への貢献

今後の取組例②

【地域に対応したクリエイティブ・ウェルネスの展開】

- アートプロジェクトを通じて、地域固有の課題解決を目指す
⇒ 共催する地域を募り、アートNPOや民間団体と協働して支援を拡大

地域での活動例



地域在住外国人との
コミュニティづくり



アートプロジェクトによる
まちづくりへの市民参加

地域の課題

コミュニティの衰退

高齢化・人口減

外国人との共生

など

今後の文化政策の検討の進め方

- ◆ 現在進めている取組をスピード感を持って進めつつ、「長期戦略ビジョン」等と連動し、東京の成長に寄与する今後の文化政策を検討していく
- ◆ 検討にあたっては、2020大会で創出されるレガシーを見据えながら進めていく



2021年度以降の都立文化施設の運営について

- 「文化政策の今後の方向性」で示した各種取組について、あらゆる主体と連携しつつ、都立文化施設の資源とネットワークを最大限活用し進めていくことが重要
- 現在は、都立文化施設(6施設)は2020年度まで東京都歴史文化財団が指定管理で運営
- 2021年度以降の運営にあたっては、都市の魅力と東京の成長に寄与する文化事業の展開に加え、**コアとなる都立文化施設のトータルな運営と、発信力強化や民間連携推進などの運営主体の機能充実が必要**



政策連携団体である歴史文化財団を活用した指定管理者の選定手続に着手する。

※ 指定管理者の選定手続にあたっては、長期戦略ビジョンに基づく管理運営の基準を策定し、着実に準備を進めていく。

また、今後検討する文化政策も事業計画等に反映していく。

庭園美術館の条例制定について

沿革

- 昭和58年 本館（旧朝香宮邸）を庭園美術館として開館
- 平成23年度 大規模改修工事等を実施
新館（ギャラリー付き）、本館EV、西洋庭園、レストラン工事
- 平成27年 国の重要文化財に指定（本館、庭園、茶室等）
- 平成30年3月 大規模改修工事等が終了し、総合開館

↳ 恒久的な美術館としての形が完成

普通財産
として
暫定利用

庭園美術館の条例制定

- 大規模改修後の総合開館を機に、都民の貴重な財産である歴史的建造物（旧朝香宮邸）と美術作品、庭園とが一体となった庭園美術館として使用する公の施設（行政財産）に位置付ける
- このため、「東京都庭園美術館条例」の制定に向けて準備を進める
※設置目的、貸出施設の利用料金など

アール・ブリュット等の振興拠点 「東京都渋谷公園通りギャラリー」グランドオープン



令和2年2月8日（土）グランドオープン

アートを通して

ダイバーシティの理解促進や

包容力のある共生社会の実現に寄与

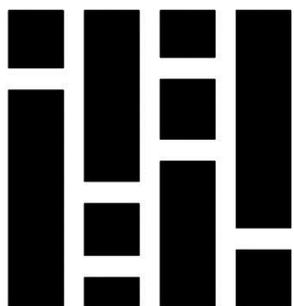
アール・ブリュット等をはじめとする

様々な作品の展示や

対話的で創造的な交流プログラム

を展開

ロゴマーク



東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

新たにロゴマークを作成
「人」と「！」をモチーフに
多様性の中で発見する驚きや気づき
また、
あみだくじのようなシルエットから
偶然の出会いや自分では想像もでき
ないことに巡り合えることを表現

交流スペースの設置



公園通りに面したガラス張りの
スペースを交流スペースに

ワークショップ、コンサートなど
アーティストと来場者が

関わり合い、呼応しながら

創り出されるプログラム等を展開

関連図書等も閲覧可能

展示室の機能改善



空調設備の更新
照明のLED化
可動壁の導入 など

利用者サービスの向上



車いす昇降機更新
授乳スペースの新設
自動ドアの増設 など

グランドオープン記念事業

展覧会「あしたのおどろき」

会期 2/8 (土) ~4/5 (日)



小笹逸男《私の友達》／1985-1989年頃
みずのき美術館所蔵 提供：みずのき美術館

交流プログラム「ひらく、つながる」

展覧会出展作家によるパフォーマンス等



松岡亮 「Tibet Festival 2019」 展示風景